



夢いんご

海田町立海田西小学校

学校だより 第4号

令和8年6月30日(火)

発行 海田西小学校

<https://www.town.kaita.lg.jp/site/kaitanishi-elementary-school/>

6月が終わろうとしています、梅雨の季節はもうしばらく続きそうです。雨の多い季節ですが、子どもたちが体を動かす時間も確保できるよう、体育の学習では水泳学習や新体力テストに取り組むとともに、児童会が主催して屋内縦割り遊びを行いました。この時期だからこそ、西っ子のみなが楽しめ絆を深めるようにと計画してくれた児童会のメンバーと、下学年を楽しませてくれた6年生。とても、頼もしく感じました。

また、5月に運動会が終わってからは、各学年・各学級での学習をしっかりと進めています。

5年 野外活動 ～江田島青少年交流の家～

6月11日(木)～12日(金)にかけて、5年生が国立江田島青少年交流の家に、1泊2日の野外活動に行ってきました。

5年生の学年目標は「考動！協力！全力！～手本となる5年生へ～」で、今回の野外活動でも、この目標を常に意識しながら活動しました。

1日目は、野外炊飯、所内ビンゴ、カプラの3つの活動を行いました。

野外炊飯では、火を起こす人、食材や食器を用意する人など、一人一人に役割がありましたが、自分の仕事が終わったら他の仕事も協力して進め、どの班とも火の大きさをしっかりと保ちながらカレーを仕上げる事ができました。自分たちで作るカレーはおいしいものですが、今年は水っぽいカレーも焦げたカレーもなく、どの班も本当においしいカレーができあがりました。みんなしっかりと働きおなかもすいていたせいでしょうか、鍋はアツという間に空っぽになりました。

入浴・夕食後、さらに、もう一つの活動であるカプラを行いました。班ごとに分かれてブロックを高く積み上げる競争をしたり、自分たちでテーマを決めて作品を完成させたりしました。この野活で一番多くの5年生が楽しかった活動にあげていたのがカプラです。グループで協力して高く積み上げたブロックが崩れた時も、作った作品を紹介して拍手をもらった時も、仲間とともに笑顔が広がっていたことがとても印象的でした。

どの活動においても、仲間同士で声を掛け合い、とてもあたたかい雰囲気の中で、一体感を感じることができました。その中でも、江田島青少年交流の家ならではの活動である2日目のカッター訓練では、協力することの大切さを最も感じる事ができたと思います。始めは思うように進まなかった艇が、みんなの漕ぐタイミングが合えば合うほど、前に進むようになりました。協力するということの意味や、一人一人が心をそろえることの大切さを肌で感じたことと思います。

野外活動では、一人一人が自分の役割を果たし、学年目標の「考動！協力！全力！」の通り、助け合い、充実した時間を過ごす事ができました。5年生には、6年生に続く次のリーダーとして、この経験を普段の生活の中でも存分に生かして欲しいと思います。



6年 出前授業「租税教室」

6月2日（火）に、海田税務署より講師をお招きして、6年生を対象に「租税教室」を開催していただきました。「税金とは何か」「税金がなぜ必要か」等を、ビデオ等を使って教えていただきました。6年生は、税金の大切さや税金がどのような場面で使われているのかなどについて詳しく教えていただきながら、よりよい社会をつくるために、税金が大切な役割を果たしていることを学びました。

最後は、1億円（もちろん偽物ですが・・・）が登場し、重みを実感しましたが、今後も学習したことを基に、よりよい生活や社会について考えたり、将来に活かしたりしてもらいたいと思います。



4年 高齢者体験 ～誰もが住みやすい町に～

6月15日（月）に、「車椅子とことこクラブ」の皆様を講師としてお招きし、高齢者体験講座を受けました。

腕や足に重しを巻いたり前が見えにくいゴーグルを付けたりして、日常生活の中で考えられる障害を模した特設コースを歩きました。4年生は、「目が見えにくかったり体が思うように動かなかったりする高齢者の方々の移動の大変さが分かった」「老々介護の方も多くいらっしゃると思うが大変だと思う」「困った人がいたら手助けしたい」など高齢者の方をいたわりたいという感想をもった一方、お招きした高齢者の方とお話したり質問したりする中で、高齢者の方々が笑顔で生き生きとお話してくださり、日々の生活を楽しんでおられることも知ることができました。

4年生はこの体験の他にも、福祉について学習を進めています。4年生はこれらの体験を通して感じた思いやりの気持ちから、自分たちにできることについて考えています。学習したことをしっかり振り返り、たくさんの人に発信してしてもらいたいと思います。



1・2年生活科 3年社会科 ～町探検～

6月は3年生が社会科の学習で、2年生と1年生が生活科の学習でそれぞれ「町たんけん」に出かけました。同じ「町たんけん」ですが、それぞれの学年で学習のテーマは異なり、3年生は「わたしたちがくらしている町の様子や、町で働く人々の仕事、まちの安全を守る働きを知ること」、2年生は「自分のことや地域の人々、地域にある建物や自然について学ぶこと」、1年生は「通学路を歩いて、安全を守るための標識や看板などを見付け、安全に登下校するためにはどんなことに気を付けたらよいか知ること」が目的です。

それぞれの学年で行った「町たんけん」から、「私たちがくらすまち」のよさを知ったり親しみをもったりするとともに、よりよい暮らし・よりよいまちづくりへと学びをつなげていければと思います。



新聞に掲載されました

海田西小学校では、新聞を使った学習「NIE教育」に取り組んでいます。今年度も、その一環として投稿した作品が、中国新聞に掲載されました。4月からこれまでに掲載された作品を紹介します。

6月8日（月）「ヤングスポット」掲載

6年 中須 彩月

作文

「遠足 最高学年の自分実感」

5月15日（金）「デジタル みんなの広場」掲載

6年 落岩 知大

川柳

新年度 新たな気持ちで 活躍だ

5月4日（月）「まなび みんなの広場」掲載

6年 磯村 直希

川柳

困難も 夢を目指せば 頑張れる

6月1日（月）掲載

6年 大本 大志

川柳

赤と白 正々堂々 戦おう

令和8年度学校評価指標

評価項目		評価指標	評価基準			
			4	3	2	1
確かな学力の育成	○子供のつまずきを見取り、個に応じた指導で基礎的な学力を十分に定着させる。	期末テストにおいて、期待得点を上回った児童の割合を75%以上にする。	75%以上	70%以上 75%未満	65%以上 70%未満	65%未満
		標準学力調査の平均正答率を全国平均8ポイント以上にする。	8pt以上	5pt以上 8pt未満	3pt以上 5pt未満	3pt未満
	○読書に慣れ親しむ児童を増やす。	自己決定した目標冊数を達成した児童の割合を70%以上にする。	70%以上	40%以上 70%未満	30%以上 40%未満	30%未満
豊かな心の育成	○自己肯定感を高める。	自分には良いところがあると思う児童を90%以上にする。 (児童アンケート)	90%以上	85%以上 90%未満	80%以上 85%未満	80%未満
	○進んであいさつができる。	気持ちの良いあいさつができる児童の割合を85%以上にする。 (児童アンケート)	85%以上	80%以上 85%未満	75%以上 80%未満	75%未満
健やかな体の育成	○体力づくりに楽しさ・喜びを見出し、進んで運動することができる。	新体力テストの校内課題種目で、前年度を70%以上上回る。	70%以上	50%以上 70%未満	40%以上 50%未満	40%未満
	○娯楽としてのスクリーンタイムを短くする。	平日、スクリーンタイムが2時間以下の割合を60%以上にする。(生活リズムカレンダー実施)	60%以上	50%以上 60%未満	40%以上 50%未満	40%未満
信頼される学校	○業務改善を進め、「子供と向き合う時間」を確保する。	業務改善に係る自己目標を達成した職員の割合を80%以上にする。	80%以上	50%以上 80%未満	40%以上 50%未満	40%未満

は、海田西中学校区の評価指標共通項目です。

7月の下校時刻